

令和3年度 輸出先国の規格・基準等に対応した技術開発等支援事業の応募結果について

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

令和4年3月15日付けで輸出先国の規格・基準等に対応した技術開発等支援事業を募集いたしました。検討委員会による審査を経て、次のとおり6件の事業が採択されましたのでお知らせします。

番号	応募者名	事業名	対象国・地域	事業内容
1	BXカネシン(株)	中国における日本産木材を使用した構造体の実大実験と検証	中国	中国の「木構造設計基準」(GB50005-2017)に則った構造体を作成し、振動台実験を行う。 日本側が提案した「壁量計算」「4分割法」「N値計算法」などの設計手法を用い、昨年度事業の「中国対応型国産材接合性能の実証と標準化」で策定された接合方法を、実際と同規模の建物を建築して検証を行う。 また、その試験を公開することで、中国の住宅建築者へ我が国の軸組構法の性能を広くアピールする。
2	一社全国木材検査・研究協会	米国の基準等に基づき米国で許容特性値を得るためのヒノキ構造材の強度試験	米国	日本産樹種が米国で構造材として使用されるためには、米国の基準等に基づき米国試験機関等により強度試験を行い、米国で許容特性値を得て設計強度が認可される必要があり、昨年度事業ではその実施体制の準備を行った。 本年度は、北米に同属の樹種があり北米の試験機関の既存データを活用できるヒノキについて、米国試験機関等による強度試験を行う。
3	ライフデザイン・カバヤ(株)	ベトナム向け木造戸建住宅の市場開拓事業	ベトナム	昨年度事業で建設したCLT木造3階建て住宅モデル棟を活用し、日本産木材による木造住宅をベトナムの住宅市場に投入できる土台づくりを行う。 ハード面である木材耐久性に関する検証は昨年度事業から継続して実施し、さらに、今年度はソフト面を中心に、以下の取組を行う。 ①現地の気候風土への適合性等を検証し、蒸暑地木造温熱仕様を策定 ②モデル棟を公開し現地で木造住宅の評価を確認 ③現地で木造住宅を建設するための建築許可ルートを確立
4	(共同提案) 東盛商事(株) (株)ウッド・リー	中国のニーズ等に対応した組子キットの設計開発	中国	中国では高品質でデザイン性が高い組子製品に対する需要が高まっており、中国の規格に対応した寸法やデザイン、安定して提供できる製品が求められている。 しかしながら、組子製品は、ほとんど日本からの輸入に依存している一方で、日本では組子は手作業で作られ数量に限りがあるため、受注から生産、納品までの期間が長く、必要な数量の確保が困難であり、このような組子製品需給のミスマッチを解消するため、中国向け組子キット(ドア、屏風)の設計開発を行う。
5	(株)戸田工務店	米国における日本の木造伝統軸組構法を取り入れた住宅の技術開発と設計ガイドラインの作成	米国	日本の伝統的軸組構法の住宅は米国において人気があるが、茶室や数寄屋造りなど、日本庭園等における展示物や富裕層などへの普及に限られている。その大きな理由として、米国では日本の伝統的軸組構法が一般的ではなく、住居として米国建築基準に準拠するのが難しいところにある。 本事業では、良質な日本産木材を使用し、伝統的な軸組構法を取り入れた住宅を米国住宅市場に輸出できるようにするために、主要構造部位の技術開発を行い設計ガイドラインを構築する。
6	(株)ウッドボックス	米国中高所得者層向け国産ヒノキ材を活用した風呂等の開発及び現地ホテルにおける実証事業	米国	米国のニーズや規格・基準等を考慮したスパ関連商材等、高付加価値商品の開発・検証を実施し、高付加価値商材(ヒノキ風呂等)を開発し、東京近郊産地によるモデル事例を創出する。 1)ロサンゼルスに開業予定の宿泊施設Kensho Ryokanのスパルームに、現地の規格・基準等に合わせた檜原村産ヒノキの「ヒノキ風呂」を開発設置し実証を行う。 2)米国消費者に響く日本産ヒノキ材の特徴をリサーチし、現地インフルエンサーやメディア等を活用した情報発信により、マーケットイン視点の実証を行う。 3)本事業をファーストステップとして、将来的な拡販を見据えた個人向けキットの開発・販売をあわせて検討実施する。